

# とくしまの教育

令和元年6月 発行：徳島県教育委員会

No. 439

2019



徳島県教育委員会  
教育長

みま よしと  
馬 持仁

## 教育長からのメッセージ

教育長の美馬でございます。教職員のみなさんには、学校や地域における様々な教育活動に日々献身的に取り組み、徳島の未来を担う子どもたちの育成に多大なご貢献をいただいておりますことに対しまして、心より感謝申し上げます。

さて、近年、子どもたちを取り巻く社会環境は大きく変化しており、中でも科学技術の飛躍的な進歩に伴うSociety5.0時代の到来は、人々の生活のみならず、雇用や労働の質をも大きく変えていく可能性があります。

このような中、国においては、新しい時代の初等中等教育の在り方について、本年4月に中央教育審議会に諮問をしたところです。審議会では、教育の現状と課題を踏まえながら、新時代に対応した義務教育や高等学校教育の在り方、外国人児童生徒等への教育の在り方、これからの時代に応じた教師の在り方や教育環境の整備等について審議されることになっており、これからの時代を見据え、教育は今大きく変わろうとしています。

そして、教育改革のもう一つの柱は、学校における働き方改革です。健康管理やワークライフバランスを意識した働き方改革は、教職員の皆さんの教職人生を豊かにし、ひいては子どもたちに対するより良い教育活動に繋がります。そのためには、「子どものためであればどんな長時間勤務も良しとする」という考え方から、「いかに効率よく、かつ効果的に教育を行うか」という考え方にシフトしていく必要があります。そのためには、まず教職員一人一人の意識の変革が大切です。

終わりに、いよいよ来年度から小学校を皮切りに新学習指導要領が実施されます。学校が、そして教育が変わろうとする今、縦横の連携、即ち「幼小中高の連携」と「家庭や地域、関係機関との連携」を密にしながら、「持続可能な学校づくり」の視点に立ち、子どもと教職員がともに生き活きと躍動できる、未来志向の教育の場を創造していきましょう。

## 子どもが輝き、教職員が輝く、魅力ある学校づくり

### 『とくしまの学校における働き方改革プラン』の策定

まずは、ここから！  
自らの働き方を省みる

2021年度の県下統一した  
小・中学校校務支援システム  
の導入に向け、準備進行中！



#### 「勤務時間の客観的把握」

##### 取組の柱1 勤務時間管理と意識改革

ICTの活用等により、客観的な時間管理が求められています。



教職員のみなさんの情熱は誇りです。心身ともに健康なことが頼りです。メリハリのある働き方へ転換しましょう！

終わりを意識するだけで、業務の質が変わります。

業務棚卸しにより、教員・学校が担う業務の見直しを図るとともに、部活動指導員やスクール・サポート・スタッフ、地域人材の活用等により負担軽減と教育の向上を目指します。

#### 取組の柱2 業務改善の推進

職員室の環境整備等により、協働意識の醸成と業務効率の向上を目指します。



コミュニケーションルームの整備による会議の効率化

#### 取組の柱3 外部人材等の活用



スクール・サポート・コミュニティ・スクール 地域学校協働活動

#### 取組の柱4 部活動の適正化

運動部・文化部活動に在り方に関する方針について

- 週2日以上以上の休養日を設ける
- 活動時間は平日・2時間、休日・3時間

部活動指導員の配置も拡充しています。



#### 取組の柱5 保護者・地域への理解促進



動画をご覧いただけます。

県教育委員会・市町村教育委員会・学校の三者が一体となり計画的に取り組んでいきます。  
※プランはこちらからご覧いただけます。http://hatarakikata.tokushima-ec.ed.jp



## 徳島県キャリア教育推進指針Ⅱ

# 『とくしまの未来を切り拓くキャリア教育』について

Society5.0時代の到来やグローバル化が一段と進展する中、人生100年時代を迎え、子供たち一人一人の未来を支援し、将来どこで活躍していても徳島に想いを馳せることができる、そうした持続可能な社会の創り手育成につながるよう、これまでの取組について成果と課題を分析し、今後5年間の徳島県におけるキャリア教育の新たな方向性を示す指針「徳島県キャリア教育推進指針Ⅱ『とくしまの未来を切り拓くキャリア教育』」を策定しました。



### 推進方針と今後の取組



#### 1 「ふるさと とくしま」を知る・考える機会の創出・拡充

- とくしまをベースに多様な人々と関わり、「かかわる力」を育成
- とくしまをベースに働くことを学びの方向性となげる「みつめる力」を育成

#### 2 挑み続ける「人財」の育成

- 社会の中で自己を捉え、学び続けようとする「みつめる力」を育成
- 直面する諸課題に、試行錯誤し、取り組み続けようとする「すすむ力」を育成

#### 3 「自分」を認め・創る手立ての実践

- 幼児期から高等学校段階までの体系的な振り返りによる「みつめる力」を育成
- 「目標-実践-体験-省察-振り返り-目標再設定」による「えがく力」を育成

#### キャリア・パスポートについて

児童生徒が、小学校から高等学校までのキャリア教育に関わる諸活動について、特別活動の学級活動及びホームルーム活動を中心として、各教科等と往還し、自らの学習状況やキャリア形成を見通したり振り返ったりしながら、自身の変容や成長を自己評価できるよう工夫されたポートフォリオのこと。

2020年4月からは、全ての小・中・高等学校で実施!

問い合わせ：学校教育課 キャリア・消費者教育担当 ☎088-621-3121

**全国初** 「エシカル消費」の推進や実践を行う全国の高校生等が徳島に集結!!

## エシカル甲子園2019

～ 私たちが創る持続可能な社会 ～



みんなまってるじょ!



12月27日  
徳島県にて本選開催!!

全国の高校生等の取組を持ち寄り、「エシカル消費」のさらなる普及・啓発につなげます。



予選審査を通過した全国の12校(開催県2校を含む)が徳島にて本選審査にのぞみます。

主催：徳島県教育委員会 徳島県 消費者庁

問合せ先(大会事務局)

徳島県教育委員会 学校教育課キャリア・消費者教育担当  
☎088-621-3104 ファクシミリ088-621-2882



徳島県教育委員会  
ウェブサイト

ID 徳島新聞 親子で楽しめる 小学生 中学生 向け新聞

## 週刊 阿波の子タイムズ

毎週日曜日、朝刊と一緒に無料でお届けしています!

身近な話題、ニュースからスポーツ情報まで、写真やイラスト付きでわかりやすく学べる人気の「週刊阿波の子タイムズ」(別刷り)は、お子さまの好奇心、考える力、学力を育みます。よりやわらかく、わかりやすくしたコラム「こども鳴潮」の書き写しもお楽しみください!

徳島新聞販売店協同組合

徳島市中徳島町2丁目5-2 ☎(通話料無料)0120-46-1940



## 「こども鳴潮」 無料 書き写しワークシート

漢字習得、文章力向上など教材としてご利用ください!



ワークシートは毎週月曜日に更新! 徳島新聞社のホームページから無料でダウンロードできます!

徳島新聞 NIE 検索

広告

## ★新事業

### ネクスト・リーダー 育成プログラム

社会の諸課題に挑む意欲と学力を持ち、社会を牽引する人材育成

- ★従前の徳島ウインターキャンプを拡充・深化!
- ★年間を通じた継続的プログラムで意欲・学力向上

### 高校生サミット 6月23日(日)、9月22日(日)、10月27日(日)

- ◇高校生版タスクフォース(県や地域の課題解決を考える)
- ◇本県ゆかりの社会人とのセッション(各界で活躍中の社会人)



### 探究セミナー 7月14日(日)、11月9日(土)、11月10日(日)

- ◇県外スーパーティーチャーによる教科別講座、講演
- ◇県内外教員教科別協議会



### 成果発表会 12月14日(土)、12月15日(日) 1泊2日

- ◇大学教授等の講演や大学生・社会人との座談会
- ◇高校生サミットの成果をまとめ、知事、教育長へ政策提言



プログラムを通して  
『次世代のリーダー』へ!

### ○海外の学校とのパートナーシップ協定締結促進

すでに海外の学校とのパートナーシップ協定を締結している学校、締結に向けて積極的に交流しようとする学校に対して支援を行います。相互訪問や共同プロジェクト学習等を通して、充実した内容での継続的な交流を展開し、グローバルスタンダードを身に付けた人材の育成を図ります。

#### 県内の高校の姉妹校提携状況

(令和元年5月現在)

- 姉妹校提携をしている学校数 11高校
- 姉妹校相手先 7か国20校  
オーストラリア(1) カンボジア(1) タイ(1) 台湾(4) ドイツ(10) ニュージーランド(2) フランス(1)

#### 平成30年度の実績

- 姉妹校・交流校受入れ 7件 総生徒数 78名  
カンボジア、台湾、ドイツ、ニュージーランド、フランスより
- 姉妹校・交流校訪問 5件 総生徒数 65名  
オーストラリア、カンボジア、台湾、ドイツ、フランスへ



姉妹校交流



## 海外の学校との 学校間交流を促進します

【徳島グローバルスタンダード 人材育成事業】

### ○海外からの教育旅行受入促進

台湾などのアジア諸地域からの教育旅行受入を促進し、徳島の高校生が、海外の高校生と授業、部活動、文化体験を通して交流する機会を提供します。日本人としてのアイデンティティや国際感覚を育成するとともに、コミュニケーション能力の向上を図ります。



台湾教育旅行受入れ

#### 平成30年度の実績

- 教育旅行受入れ 8件  
(うち姉妹校・交流校 3件)  
総生徒数 282名(台湾より)

## 活躍中! 「いじめ防止子ども委員会」

### ○「いじめ防止子ども委員会」の設置・推進について

いじめの防止のためには、児童生徒自らがいじめ問題を自分のこととして捉え、主体的に行動を起こすことが重要です。

昨年度から始まった公立小・中学校及び特別支援学校での「いじめ防止子ども委員会」の活動の中には、「友達への感謝の気持ちを『きらきらメール』」にして、給食時間に校内放送で紹介、「いじめ防止7か条の策定」、「挨拶リーダーの認定」、「クラスで話し合った『いじめ防止に向けて今できること』を全体場で発表」等、児童生徒の創意を生かし、意欲的・積極的にいじめ防止に取り組んでいる学校があります。

「いじめをしない・させない・見過ごさない」仲間を増やしていくために、「いじめ防止子ども委員会」の活動を広げていきましょう。



### チャレンジ防災人材育成推進事業

## 教員防災士 になろう

「南海トラフ巨大地震」等を迎え撃つ、学校防災力の向上と地域防災の担い手の育成にむけて

### □学校防災人材育成講座

**目的** 平時は実践的な防災教育を推進し、災害発生時には、児童生徒の命を守り、学校防災活動のリーダー的役割を果たす「教員防災士」の養成。

- 防災に関する知識を生かし、自助から共助へ、実践的な防災教育の推進
- 学校が避難所となった際の初動対応支援や地域連携の要
- 学校防災体制の強化と地域と協働した防災力の向上

**対象** 小・中・高・特別支援学校教員

**養成人数** 今年度は教員防災士30人養成(今後、5年間で150人を養成)



災害図上訓練



幼高合同避難訓練



避難路清掃ボランティア



地域防災訓練

## 24時間急患受付体制 入院設備も完備



水晶体再建術、緑内障手術、角膜移植術、網膜復位術などを外来および入院で行っています。

長時間のパソコン使用やドライアイなどによる目の疲れ・諸症状に眼精疲労治療を行っています。

手術をしない 視力矯正法「オルソケラトロジー」施行 詳しくはご相談ください。

※オルソケラトロジーは自由診療です。  
自由診療については全額自費負担になります。  
※費用/両眼で15万円(税込)

## 医療法人 山田眼科

徳島市中通町2丁目31(えびす神社近く)

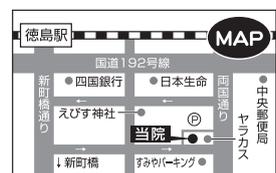
☎ (088)652-4843

http://www.eye-yamada.com

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00~12:30	○	○	○	○	○	○
14:00~18:00	○	○	○	○	○	○

※土曜日の午後は13:30~17:30です。  
※午後~予約可

休診日 木曜午後・日曜・祝祭日



広告

## 平成30年度文部科学大臣優秀教職員表彰について

文部科学省は、学校教育における教育実践等に優れた成果を上げた教職員について、その功績を表彰するとともに広く周知し、あわせて我が国の教職員の意欲及び資質の向上に資することを目的として、文部科学大臣優秀教職員表彰を実施しており、平成30年度は、全国で773名の教職員と46の教職員組織が表彰されました。

本県公立学校関係では、次の教職員と教職員組織が表彰され、平成31年1月25日に徳島県庁において表彰伝達式が行われました。

今後とも、教育に対する情熱と力量を遺憾なく発揮され、他の教職員の目標となる存在として、ますます活躍されることを期待しています。



平成30年度文部科学大臣優秀教職員表彰伝達式

### 表彰を受けた教職員組織

#### ●徳島市川内中学校(メンター制推進チーム)

実践分野：地域連携・協働の推進

活動内容：メンター制の推進で、教職員同士の意見交換や相談ができる関係を作り、主体的な研修を実施し、若手教員やミドルリーダーを育成することで、チーム学校の意識を高めている。

### 教職員表彰を受けた皆さん

(役職・学校名については、平成30年度当時です。)

- 坂田 淳二 教諭 (徳島市内町小学校)  
実践分野：体育・保健・給食指導
- 助岡 洋子 教諭 (阿南市立富岡小学校)  
実践分野：特別支援教育
- 村岡 佳子 教諭 (藍住町立藍住西小学校)  
実践分野：学習指導

- 堀川 昌宏 主幹教諭 (鳴門市大麻中学校)  
実践分野：地域連携・協働の推進
- 藤本 智美 教諭 (徳島県立城東高等学校)  
実践分野：生徒指導・進路指導
- 山崎 茂喜 教諭 (徳島県立海部高等学校)  
実践分野：生徒指導・進路指導
- 山崎 美貴 教諭 (徳島県立阿南支援学校)  
実践分野：学習指導



## コンプライアンス推進に関する フレーズ・標語優秀作品

平成  
30年度

### ◎教育長賞 (1点)

「終わらんで？」 ON OFFはっきり 能率UP!  
(三好市立吾橋小学校 曾我部修司 教頭)

### ◎副教育長賞 (1点)

曇りない 瞳に耽じぬ 師の姿  
(上勝町立上勝中学校 三河 希美 教諭)

### ◎教育次長賞 (2点)

さりげなく 心をほぐす 言葉がけ  
(藍住町立藍住東中学校 簗手 明子 教諭)  
もう一回 チェックで防げる ミスがある  
(徳島県立板野高等学校 大平落千夏 講師)



【フレーズ・標語優秀作品表彰式(10.19)】

## 「とくしま教員育成指標」の 一部改訂について

令和4年4月の成年年齢の引き下げを見据え、「消費者教育先進県 徳島」として全国に先駆けて「消費者教育」及び「主権者教育」に関する事項を盛り込み、平成31年2月に「とくしま教員育成指標」を一部改訂いたしました。このことにより、小学校から特別支援学校まで、それぞれの発達段階に応じた徳島ならではの教育を更に推進していただきますとともに、教員等の資質・能力の向上を図る目安として、積極的に本指標を御活用ください。

◆問い合わせ先：徳島県教育委員会教職員課 人材育成担当  
☎088-621-3150

## 人権に関する3つの法律「人権三法」について



差別を解消することを目的に3つの法律が  
平成28年に施行されています

平成28年に施行された「部落差別の解消の推進に関する法律」(部落差別解消推進法)、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」(障害者差別解消法)、「本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組の推進に関する法律」(ハイトスピーチ解消法)は、合わせて「人権三法」と言われています。部落差別解消推進法は、「現在もなお部落差別が存在するとともに、情報化の進展に伴って部落差別に関する状況の変化が生じている」との認識のもとに「部落差別のない社会を実現すること」(第1条)を目的としてつくられ、「部落差別を解消するため、必要な教育及び啓発を行うよう努める」(第5条)ことが示されています。教職員が同和問題に関する研修を深め、児童生徒に部落差別をなくしていくこととする態度や実践力を育てることが大切です。

◆問い合わせ先：徳島県教育委員会人権教育課 ☎088-621-3155

## 新教育委員の紹介



きくち けんじ  
菊池 健次氏

●任期  
平成30年12月24日～  
令和4年12月23日  
一般社団法人  
徳島ビルメンテナンス協会会長

## ポジティブな行動支援の実施校が 県内各地に広がっています!



あったか言葉の取組

子供の良い行動に注目し、ポジティブに関わることで  
●「わかった」「できた」が増える!  
●子供も教師もやる気アップで笑顔に!  
●子供と教師の信頼関係を深めることができる!

詳しくは  
徳島県立総合教育センターホームページ  
特別支援まなびの広場 検索

<http://manabinohiroba.tokushima-ec.ed.jp/>



学校全体で取り組む  
ポジティブな行動支援実施校

●実践校

ポジティブな行動支援の取り組みで、  
子供も教師も幸せな学校を創る!

広告

## 徳島市北矢三に 新モデルハウス 「家族が育つ家」 オープン!

詳しくは  
HPをご覧ください。



モデルハウスにはスタッフが常駐しておりませんので、ご見学希望の方は事前にご連絡ください。



セイコーハウジング  
TEL.088-631-8082

徳島市北矢三町3丁目1番79号  
[田宮街道沿い]  
セイコーハウジング 検索  
seikohousing.co.jp/

